

にいがた未来c a f eまとめ



平成 26 年 4 月

新潟市地域・魅力創造部 政策調整課

★にいがた未来 cafe 開催概要

1. 開催目的 市民の「市政に対する関心」や「まちづくりへの参加意識」を高めるとともに、幅広い世代・属性からの多様な意見を取り入れ、次期総合計画に活かしていく。
2. 名 称 にいがた未来 cafe ～新潟市の未来を語り合う会～
3. 日 時 平成 26 年 3 月 29 日(土) 午後 1 時 30 分～午後 4 時
※受付は午後 1 時より
4. 会 場 新潟市民プラザ
新潟市中央区西堀通 6-866 NEXT21 ビル 6 階
5. 参加者 128 名
各区自治協議会、地域コミュニティ協議会、各種地域コーディネーター
大学生、専門学校生、NPO 法人、志民委員会など
6. ファシリテーター
NPO 法人 まちづくり学校
メインファシリテーター:大滝 聡
エリアファシリテーター:金子洋二、江川 功、伊藤明世、掛川洋規
マネージャー:山賀昌子
7. 意見交換のテーマ
10 年後、20 年後、そして未来へ。
新潟市の将来に向けて、これから私たちが取り組むべきことは何ですか。
8. 全体スケジュール
 - 受付
 - 村入りワークショップ(「あなたが感じる新潟市の魅力」意見聴取)
 - 開会挨拶(開催趣旨説明)
 - オリエンテーション(プログラム紹介、テーマ、ルールの紹介)
 - カフェトーク(意見交換)1 ラウンド～3 ラウンドまで
 - 全体セッション(意見発表)
 - 閉会挨拶
 - 記念撮影

9. タイムテーブル



新都市のみらいを語り合う会

にいがた未来cafe

本日のメニュー

13:30	オープニング
13:50	カフェトーク 1ラウンド
14:15	席替え&カフェタイム
14:25	カフェトーク 2ラウンド
14:50	席替え&カフェタイム
15:00	カフェトーク 3ラウンド
15:25	全体セッション
15:45	クロージング～記念撮影
16:00	終了



入口周辺の受付風景

★村入りワークショップ（受付ロビー）

1. 実施の目的

- ・参加者の意識高揚
- ・どのような考えを持つ方がこの場に参加されているかをお互いに知り合う
- ・参加者が新潟市の魅力をどのように捉えているかをわかち合う

2. テーマ 「あなたが感じる新潟市の魅力」

3. 村入りワークショップで出された主な意見

- ・豊かな自然や歴史に恵まれており暮らしやすい。
- ・海や川、田んぼなどの景観が美しい。
- ・四季がはっきりしている。
- ・食べ物やお酒が美味しい。
- ・女性がきれい。
- ・人情が厚い、やさしい人が多い。
- ・地域力が強い。
- ・人々の交流が盛ん。



村入りワークショップ風景

★会場内の様子



カフェトークの会場風景



カフェトーク及び休憩時間のスナップ

★ 各テーブルで話し合われた内容

テーマ:10年後、20年後、そして未来へ。

新潟市の将来に向けて、これから私たちが取り組むべきことは何ですか。

○子どもを安心して産み育てられるまち

- ・若い人も経済的に安心して子育てできる環境整備。
- ・親の就労に関わらず、望む人が全て保育園に入園させることが出来る環境。
- ・3世代同居の推進。
- ・子育て、住まい、就職、学校を車で行ける範囲にする。
- ・結婚して新潟に住む若いカップルに助成金を出す、減税する。
- ・子どもが安全、安心して暮らせる。
- ・小さい子がめいっぱい遊べる、大人も楽しめる公園づくり。
- ・子どものスポーツ離れ解消のため、ハードだけでなくソフトを充実させる。

○特長ある教育環境があるまち

- ・地域を巻き込んでの子育て。
- ・大人が遊びを教える学校(木登り、かけっこ、缶けり)子供の遊び場づくり。
- ・子どもの学区に融通をきかせる。
- ・小学校から自主防災の訓練をする。
- ・子どもを小学校で十分に遊ばせる。
- ・教育にもっと力(お金)をかける。小学校時代に環境の教育を取り入れる。
- ・専門学校・大学は県立をもっと増やす。
- ・県立科学博物館などを利用した、学べるまちづくり。

○健康でずっと安心して暮らせるまち

- ・高齢者・障害者・子供・弱者に優しい社会にする。
- ・高齢化に向けてコミュニティの活性化。
- ・高齢者、特に一人暮らし老人の見守りの取り組み。
- ・介護施設、利用者の支援と従業員の待遇改善。
- ・福祉環境の充実。病院と施設の連携プレーや特養の建設を行う。
- ・高齢者と若者の生活を結びつける住宅や街づくり。
- ・老人と保育でお互いに支え合う。認知予防に子供が高齢者の世話をする。
- ・みんなが健康で生涯暮らせるよう、寝たきりにならないような生活(体)づくり。
- ・地域包括ケアシステムの実践。
- ・移民を増やして人口増加させ、税収入を増やす。

○多様な方が多様に働けるまち

- ・若者の働く場の創出、誘致。
- ・若者の定住と若者のIターン、Uターンを図る。
- ・若者を東京に持っていけないようにする。
- ・若者の起業の応援、高齢者社会を支えるビジネス創設。
- ・企業が女性の活用と人権を尊重する。
- ・子育てしながら働けるよう、企業側の取り組みが必要。
- ・コミュニティ・ビジネス起業。
- ・性別、国籍を問わず安定した職に就けるようにする。

○元気で活力のあるまち

- ・古町の空きスペースを活かす。(ローサ、NEXT21)
- ・古町、万代、駅周辺を一体化して若者を呼び込む。(長岡アオーレを参考に)
- ・オープンカフェ、広場をつくる。手ぶらで長居できる場所づくり。
- ・水辺をつなぐカヌーなどのまちなかアウトドア。
- ・やすらぎ堤を活かした特色のあるまちなかをつくる。魅力的な場所を作る。
- ・商店街の発展。
- ・駅南の開発。
- ・区同士の交流を盛んにする。

○魅力を生かした交流拠点のまち

- ・新潟 DC の「新潟4潟巡り」、新潟市唯一の観光資源として大いに発展させる。
- ・食の陣・酒の陣・音楽イベントなどの拡大・充実。
- ・佐渡、新潟の魅力をアピールする。
- ・教育、産業、交流などの受け入れインフラの整備。
- ・見どころはここ！という名所・観光施設があるとよい。
- ・今ある施設をもっと使いやすく、盛り上げる。知名度を上げる。
- ・海・川・自然を生かし、日本の中の新潟の位置を海外にもっと知ってもらう。
- ・「アウトレット」をつくり、新潟の良いものを何でも売る。
- ・「水の都」にふさわしい水路をつくり昔の西堀を復活させる。

○国際貢献できる国際拠点のまち

- ・グローバル化の視点を持つ。姉妹都市との人・文化と経済交流。
- ・案内板やお店の店員など、英語で暮らせる環境の整備。
- ・東京に行かなくても何でもできる、国際都市新潟を目指す。
- ・子ども・若者の国際化。
- ・交流事業としてホームステイの実施。
- ・国際的な新潟を目指すなら港、空港を利用しやすくする。
- ・他県の港と比べて税関がややこしい。海外との取引をスムーズにする。

○自治の深化に向け地域と連携・協働するまち

- ・定年後の第二の職場として地域活動。
- ・コーディネーターを立てる。得意分野で参加する。
- ・地域教育コーディネーターの立場の拡充を行う。
- ・コミ協の活性化。若者、女性を参加させる。
- ・金銭的な補助や人がアクティブに動ける仕組みづくり。
- ・自治会、町内会は高齢化しているため市の支援が必要。
- ・内野 DE アートなど学生と地域のつながり。
- ・災害時の要援護者の支援を充実させる。
- ・身近にある地域の宝の再認識。
- ・増える空家の活用方法等々、空家サポートセンターなどを仲介する場の整備。

○食料・食品産業拠点のまち

- ・農業特区の活用。兼業から専業へ。
- ・福島潟の整備・農業体験・自然体験。
- ・農業特区を生かし、都会、県外からも人を呼び込むような魅力、制度の整備。
- ・付加価値を高める。家業から企業へ。
- ・農業従事者が会社を設立して、大規模農業で活路を見出す。
- ・発信力のある飲食店と農業を結びつけて、新潟の食をさらに育てる。
- ・農業の6次産業で雇用増につなげる。
- ・農家が自由に売り歩ける体制整備。
- ・大学と農家の交流。

○公共交通が整備されたまち

- ・パークアンドライドの推進。
- ・車より電車の利用が得になるシステムづくり。
- ・定時運行できるアクセス確立。
- ・免許返納後のタクシーチケット補助を増やす。
- ・バス・飛行機・新幹線等の交通費、いろんな企業を呼んで価格競争をさせる。
- ・雪、雨におけるバス停の対応強化。
- ・観光地をつなぐ交通手段の整備。
- ・高齢者の為の交通網強化。
- ・関東以外の県外への交通インフラ整備。
- ・新幹線の新潟空港乗り入れ。



カフェトークで出された参加者の主な意見

★記念写真



参 考

◎資料 1

本日のメニュー

◎資料 2

新潟市総合計画（配布資料）

◎資料 3

参加者構成

平成 26 年 4 月

新潟市地域・魅力創造部 政策調整課

Menu

本日のメニュー

- 13:30 オープニング
- 13:50 カフェトーク 1ラウンド
- 14:15 席替え & カフェタイム
- 14:25 カフェトーク 2ラウンド
- 14:50 席替え & カフェタイム
- 15:00 カフェトーク 3ラウンド
- 15:25 全体セッション
- 15:45 クロージング～記念撮影
- 16:00 終了

Rule & Etiquette

カフェトークのルールとエチケット

このにいがた未来カフェでは以下のテーマで話し合ってください。

**10年後、20年後、そして未来へ。
新潟市の将来に向けて、これから私たちが取り組むべきことは何ですか？**

1. 一回のラウンド(話し合う時間)は25分間です。その間は他のテーブルに移動することはできません。
2. 大切な意見は必ず模造紙にマーカーで記録してください。
3. 人の意見を否定しないで、アイデアをどんどん付け足していくような話し合いになるようにご協力ください。
4. 時間になったらテーブルの中のどなたか一人を残して、メンバーは他のブロック(できればそれぞれ違うブロックに)に移動してください。
5. 席替えの時間は10分間ありますので、その間を利用してロビーで休憩をとったり、お手洗いをご利用ください。ラウンドの開始2分前にアナウンスいたします。
6. カフェトークは3ラウンドまで行います。3ラウンドが終了しましたら、各ブロックの主だった意見を、エリア担当者がカメラを使って皆さんにご紹介します。

新潟市総合計画（次期総合計画）

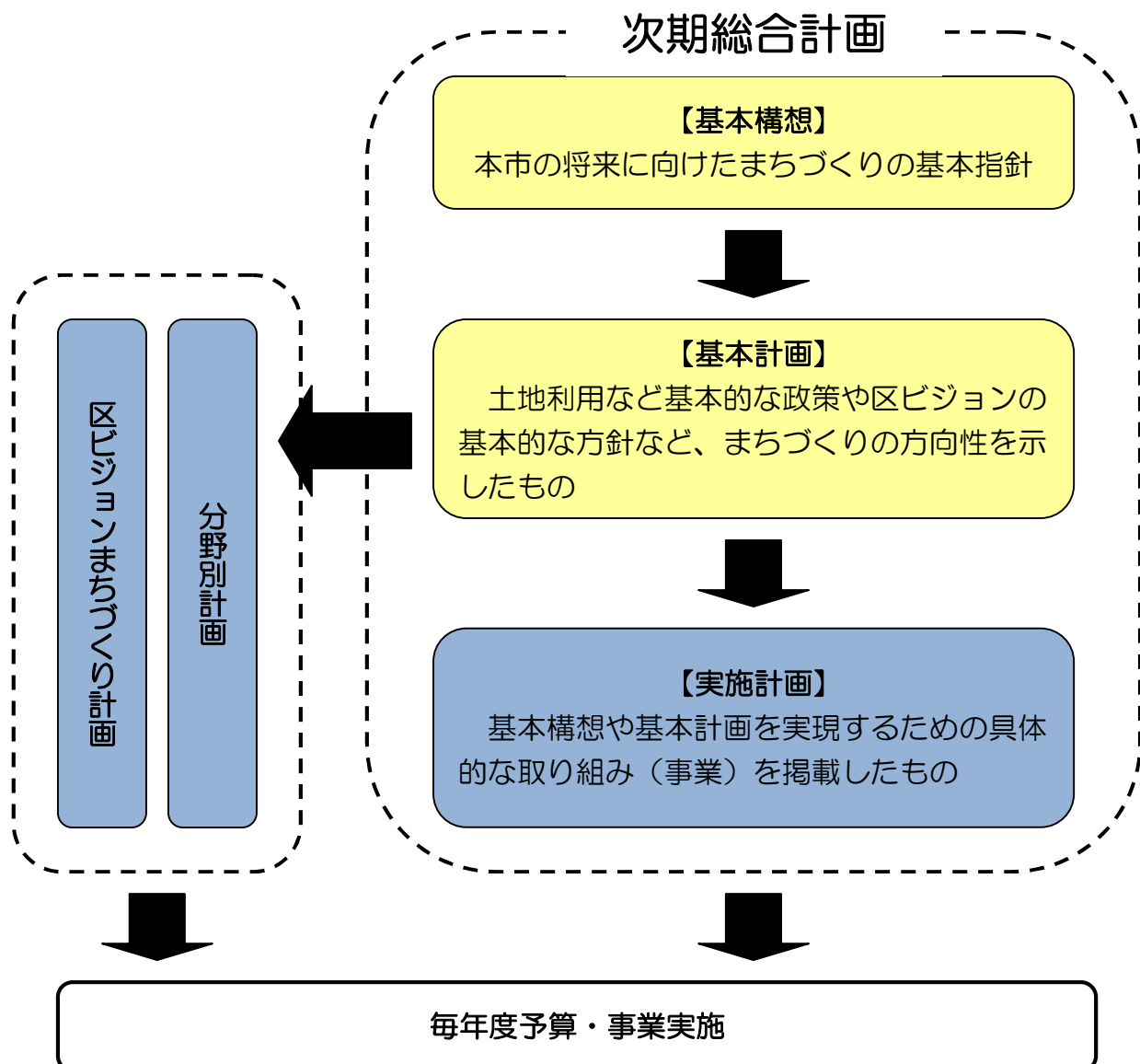
1 総合計画とは

新潟市政における最上位計画であり、将来のまちづくりの基本理念や方向性を示したもの。また、まちづくりを行ううえで、さまざまな施策の指針となるもの。

2 計画期間

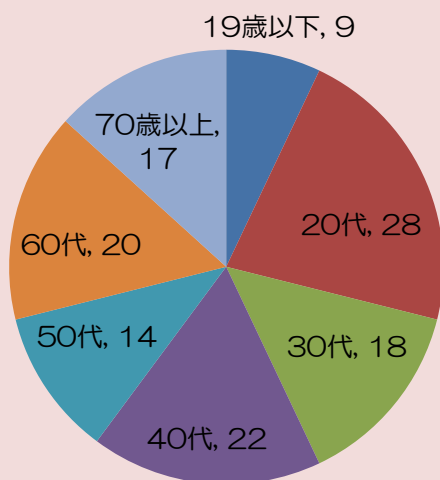
平成27年度からの8年間

3 計画の構成

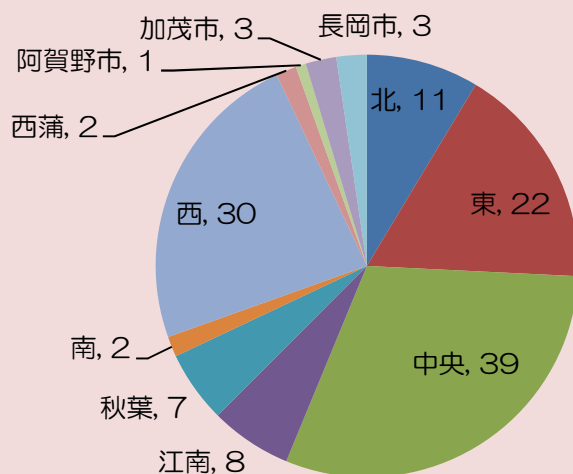


にいがた未来 cafe 参加者内訳 (128人)

年代別 人数



区・市町村別 人数



種別 人数

